

特 集

自主自律の精神で 戦う集団へ!

昨年そして今年の期首・新年の社長インタビューで、「“自主自律”で社員の皆さんに仕事を進めてもらいたい」という話がありました。「自主自律」とは、高い意識と目標を持って、自ら考えて迅速に行動に移し、必ずやり遂げること。皆さんは、自主自律の精神を持って業務に取り組んでいるでしょうか?

「うまく進められない」と悩みを抱えているなら、ぜひ一度立ち止まって、この特集を読んでみてください。皆さんが少しでも、自主自律を実践できるように、“あるべき姿”をお届けします。



光環境マスタープラン推進プロジェクトのメンバーが、団結して仕事を成し遂げるために、定期的な会議を実施しています。

安全・コンプライアンス・品質・コストの改善に全力で取り組む

当社には、お客さまや社会の皆さまに「誠心」まことこころをもつて仕事をお届けすることを大切に考える社風があります。このことが、社員ならびに当社の幸せや発展にもつながるものであると考えています。

しかし、「誠心」という根底に流れる思いは貫き通していても、求められる仕事の中身は、その時代あるいは取り巻く環境と共に変化しています。また、そのハードルは高いものとなってきています。

私は以前から、「自主自律」で社員の皆さんに仕事を進めてもらいたいとお話ししてきました。団塊の世代と言われる先輩方の退職時期（2007～2012）から急速な世代交代を余儀なくされてきましたが、当社に限らず多くの企業の世代分布から見ても、技術・技能・経験が途切れなく次世代に継承されているとは言えません。近年の安全やコンプライアンスなどで、以前には考えられないことが起きていることに危機感を抱いているのも事実です。

各職場においては、安全・コンプライアンス・品質・コストなどの問題点や課題を自ら捉えて、改善や解決までつなげる姿勢が、これまで以上に社員一人ひとりに求められることは言うまでもありません。日々これらに対応すべく頑張っていることに感謝いたします。



ト
ッ
プ
メ
ッ
セ
ー
ジ

社長が思う自主自律

求められることが多い現代 目標達成に向けて やるべきことを 正確・迅速に遂行する

代表取締役社長 松本 豊



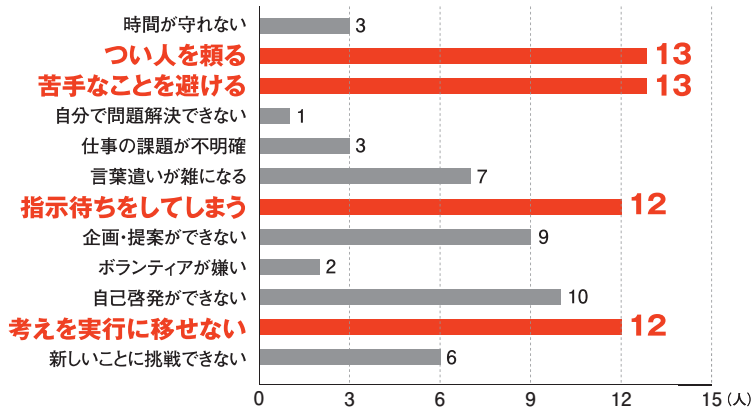
自主自律の実践は、規律ある風通しの良い職場づくりから

「自主自律」の精神で仕事を進めるためには、社会人として法令を遵守することはもちろん、自らの持ち場・立場において求められていることを正しく認識しなければなりません。そして、やるべきことを正確かつ迅速に遂行するため、何をすべきかを自ら考え、責任を持って実行に移し、目標の達成に向かうことが大切です。言い換えれば、自ら「PDCA」をしっかりと実践することが「自主自律」ということもできます。目的意識もなく言われたことしかしない「指示待ち」や、信念もなく変化を拒絶する姿勢とは対極にあります。

そして、「自主自律」を実践するうえで重要なのが、「規律ある風通しの良い職場づくり」だと思います。適時適切な上司から部下への「指示・命令」や、部下から上司への「報連相」がしっかりとなされ、一方では、お互いの表情から気持ちを理解し、困っている時には手を差し伸べられるようなコミュニケーションの取れた職場があつてこそ成立するものではないでしょうか。

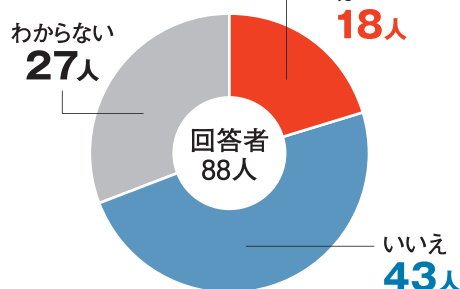
私たち一人ひとりが、明確な目的意識や納期意識、そして責任感を持ち、「誠心」をこめた仕事を「自主自律」で遂行し、社内外からさらに厚い信頼を得られる濱田重工となりますように。

Q2. (Q1で「いいえ」と答えた方)自主自律できていないと思うことは何ですか?(複数選択可)



Q1. あなたは自主自律できていますか?

P6~9で、自主自律の実践者を紹介!



社員のホシネアンケート

あなたは“自主自律”できている?

●調査期間 平成28年7月15日~8月31日 ●回答者数 88人

Q4. あなたの職場で“自律”できていると尊敬する人は、どんな人ですか?

- 将来を見据えて、幅広い視野で挑戦し続ける人
- 仕事の隙間時間を有効活用し、部下の教育に励む人



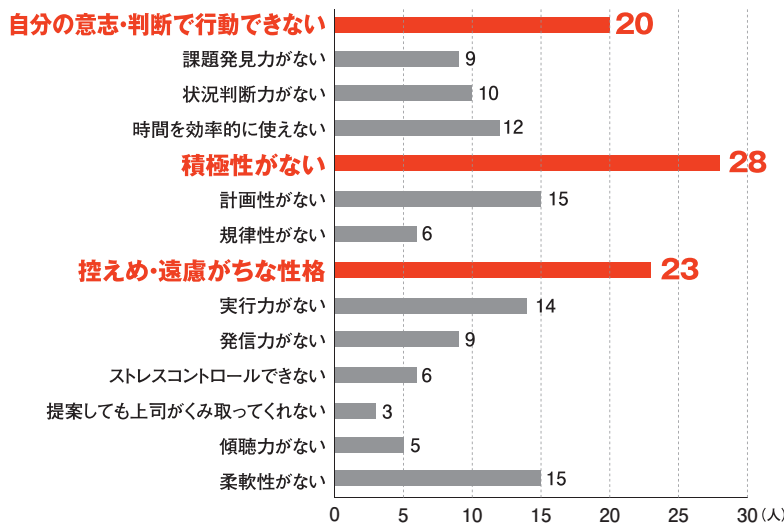
- 業務に対して自ら問題提起し、多面的に考察し解決できる人
- 常に物事の本質を探究し、良い方向へと導く人



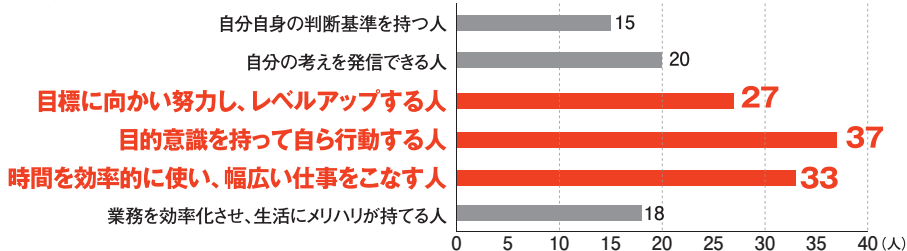
- 問題発生時にも、冷静な判断力と調整力を持つ人
- 客先とコミュニケーションを取るのが上手く、仕事も正確で迅速に遂行する人



Q3. (Q1で「いいえ」と答えた方)自主自律ができていないのは、なぜだと思いますか?(複数選択可)



Q5. どんな自分になりたいですか?(複数選択可)



複数の案件を受け持つことも多いですが、頻繁に現場に足を運び、現物を見て工程に不具合がないかチェックしています。

少数精鋭の職場で、自主自律を念頭に仕事を進める4人の戦士に、業務への取り組み方や工夫を聞きました。

マイルール

- 一日・一週間の予定を毎朝確認する
- ゴールを常に設定する
- 仕事を楽しむ努力をする

予定を確認できないとミスにつながる恐れがあるので、朝は早めに出勤して仕事の予定を立てています。また、ゴールは常に設定し、疑問はその場で解消。イライラや焦りを感じたら一旦落ち着いて感情をコントロールすると、仕事がうまくいくようになりました。

八幡支店 整備課

松永 健太さん

2014年12月に中途入社した24歳。
2016年4月に主務職社員に系列変更。

朝の予定確認が仕事の要！ 良い仕事は良い環境から生まれる

新日鐵住金(株)八幡製鐵所・小倉地区でクレーン整備のスタッフとして業務を担当しています。工場内にはクレーンが約100台あり、それぞれ法定基準を満たしているか約200に及ぶ項目を確認しながら、整備が計画通りに進められるよう工程作成と管理をしています。

そのためスケジュール管理は、やはり大事。毎朝、二日の流れと今後一週間の流れを確認する時間が欠かせません。また、円滑に業務を進めるため、職場でのコミュニケーションもケーションも大切。意見を言う時は何を伝えるか一度整理して、



始業前やお昼の休憩時に自己啓発に努めています。

た、円滑に業務を進めるため、職場でのコミュニケーションもケーションも大切。意見を言う時は何を伝えるか一度整理して、

ポイントのみ伝えるようにしています。今足りないのは知識と経験。一度、お客さまに納得してもらおうことができません、とても悔しい思いをしました。その思いがあるからこそ、仕事に前向きに取り組みめると感じています。

今後は整備保全や管理技士など資格



法定基準はもちろん八幡製鐵所の基準を満たすように「クレーン・ホイスト点検標準・基準マニュアル」を随時確認しながら万全な整備を行います。

をたくさん取得し、社内外から頼られるスタッフを目指したいと思っています。

資源は有限
技術は無限

点検の心
匠の技

上司の本間幸夫課長が、事務所入口に掲示した「匠の心得」は社内外の来客者の目を引きます。本間課長の下で松永さんも知識を吸収し、人間力も磨いています。

上司より

- 対人関係や交渉能力に優れ、あいさつも丁寧
- 何を話しかシミュレーションをして相談をする
- 相手が何を求めているのかを察することができる



八幡支店
工事部課長
本間幸夫さん

相談する時は聞きたいポイントを押さえ、報告の文書は内容を簡潔にまとめているので、とてもアドバイスがしやすいです。また対応がとても丁寧なので、お客さまからの評判も良い。余暇で資格対策を進めるなど勉強熱心で、今後、技術者の核となる期待の若手です。

信頼とは、役に立つ、と思われれること 段取り八割で、完成度の高い仕事を目指す

私は「光環境マスター
プラン推進プロジェクト
リーダー※1」として、
3名の部下と共に、第一
廃酸処理設備および含
油処理設備関連工事
を担当しています。大



図面を入念にチェック

分製鐵所第二高炉改修同調水砕処理設備更新
に従事した経験から、「担当者以上に担当者目
線であるべき」というプロジェクトリーダーのあり
方を学び、仕事の運営に生かしています。

プロジェクト推進には、工期厳守はもちろん、無
駄を省き、高い次元の完成度を追求していくこ
とが重要です。自分を含め、メンバーの担当業務
は計画対実績(工程)、現状の懸案事項・残務
(消込リスト)を逐一記録。現場状況が一目で分か
るような写真資料など、お客さまに正確な情報
を提供しています。メンバーや取引先との連携、
そして周到な準備が欠かせません。

プロジェクトを通じた人
材育成では、親のような立
場で部下を見守り、「必要
な情報提供」や「環境づく
り」について考えるようにな
りました。私が学んだこと
を後進にも伝えていきたい
と思います。

※1 新日鐵住金ステンレス機
光製造所では、防災リスク管理強化
対策として環境マスタープランが策
定され、当社も全面的に協力的体制
を取らせていただいている。

マイルール

- ゴールに辿り着く方法(業務設計)を考えてから仕事に着手する
- 問題解決・課題達成のためのフレームワークをより多く仕込む
- 人の話は、日常会話であっても議事録を取るつもりで聴く
- どうせやるなら、「やるだけのことをやって、文句を言わせない!」くらいの気概で!(結局、文句は言われるんですけどね)

お薦めの本

『エンジニアが30歳までに身につけておくべきこと』
椎木一夫【著】



自己啓発法

御手洗さんは、近年「カウンセラー」「メンタルヘルスII種」を取得。「アドラー心理学」も勉強中で、多様なタイプの人と仕事での良好な関係を築くための参考としています。

部下より

- プロジェクト就任時に、円滑に業務を進められるように「業務ルール」を準備してくれた
- 週頭、週末業務進捗確認会議、三行日誌の活用
- ゴール到達に向けた全体工程を提示しながら、各工程の取り組みについては任せてくれる



技術部(光駐在)
馬場真一さん

週の初めと終わりに会議を開き、一人ひとりの業務進捗状況と課題を共有し、フォローし合える環境をつくってくれます。

一日の業務を三行で記録する日誌は、「仕事の悩みやストレスのはけ口にしていいよ」と部下を気にかけてくれるのがうれしいです。プロジェクト経験がない私に、これまでの業務経験を尋ねて、さらに活躍できるように色々な知識を教えてくださいました。

技術部(光駐在)

御手洗 久美さん

1982年入社。技術部、大分支店、産機事業部、大分支店、光支店を経て、光環境マスタープラン推進プロジェクトリーダーとして活躍中。



試運転の立ち合いを行う御手洗さん(左)。相手を思いやる丁寧な仕事振りで、社内外的からの信頼が厚い。

工場ユーティリティ設備の冷水システム保守点検
※社内報用に特別に保護具を外し撮影しています。



シリコンウェハー事業部 設備グループ

吉川 剛さん

1993年2月入社 of 43歳。設備グループの職長として、震災後の熊本工場の復旧にも大きく貢献しました。

マイルール

- 面倒な仕事から先に進める
- まずはやってみる・やってみせる
- 気づいたらすぐ改善

難しい仕事から先に終わらせると、スケジュールの目途がつきやすい仕事が残ります。計画的に効率よく進めることができます。後輩に対しては仕事のやり方を指示するのではなくヒントを伝えるようにしています。まずは自らやってみることが、成長につながります。

上司より

- 段取り上手
- 筋道を立てて話をする
- 部下を育て業務を共有している



設備グループ長
坂本孝夫さん

設備グループは、復旧に向けて一丸となって取り組んでいます。なかでも吉川さんは、効率よくスピーディに作業を進めてくれるので頼もしい限りです。説明をする時は筋を通すため、無駄もスキもありません。今後は後輩を育てさらに高みを目指してほしいですね。



生産設備に使用されているウェハー搬送用ロボットのメンテナンス作業

シリコンウェハー事業のハードからソフトまで、工場内すべての保全と改良を手がけています。半導体の再生業界で世界一を維持できるのは、開発した技術を自分たちで迅速に自社設備へ反映できるから。極力メーカーには頼らずに保全活動を進めるので、ノウハウが蓄積されます。

また、全員の技術力を向上させるために、装置のマニュアルを一から作り直しています。

理想の目標を立てるのが スキルアップにつながる



仕組みから理解できるように説明を書き加えているため、知識を応用した改善提案が月に4件以上出せるのです。

仕事で心掛けているのは、まず理想の目標を立てることです。達成までの道筋や足りないスキルが自覚でき、学ぶべきことが明確になります。また、勉強をさせてくれる職場の環境にも助けられています。今後はグループとしての技術向上を図り、設備メーカーに負けない多様性のある集団を作り上げていきたいです。

まごころ
**お客さまとの信頼は
 誠心の精神から生まれる**

産機事業部で搬送設備の設計を担当しています。中途で入社して3年間は苦しい時期でしたが、結果を出すための準備やスピード感のある業務対応、競争力のある見積・原価積算を大事に取り組んできました。

この成果が表れ、1号シップローダ、2号シップローダ、橋型アンローダ、機内コンベアな



烏田さん(右)が上司の坂田さんと仕事をして22年。仕事を私事とせず、顧客と職場の仲間をいつも気にかける行動力を手本としています。

たことが大きく関わっています。お客さまと接する時は、誠実に、ただ遠慮することなく思っていることはきちんと述べる。勇気を持つた対応をするようにしています。苦労は自らが背負う精神で、これからもお客さまと信頼関係を築き、営業のフォローをしながら実績を重ねていきます。



ど次々に受注することができたのは、やはりお客さまのニーズを的確につかめ



シップローダのブームを確認

部下より

先頭を切って仕事を受注しに行く姿勢

どんなことにも対応できる経験

その場、その場でお客さまの心を読む



搬送プラント設計グループ
 烏田 武さん

経験があるからこそ引き出しの数も多く、私たちが困っている時、悩んでいる時に、解決するアイデアや手法を必ず教えてくれます。それが濱田重工ファンの拡大につながっていると感じます。また、相手の気持ちや要望を読み取る仕事の進め方は勉強になります。

マイルール

- お客さまの要望に即対応する
- お客さまには遠慮をせず勇気を持って接する
- 部員の成長のために褒めて指導する

部員には指摘・指導はしますが、叱ることはしません。褒めて励まし、成長を支える方が部員のためになります。また、やり方を一つ一つ伝えるのではなく、まず自分がやってみせて、そこから学んでほしいと考えています。仕事は私も含め、皆で一緒に進めるものですから。

産機事業部 搬送プラント設計グループ

坂田 健治さん

2003年4月中途入社、64歳の部長。フットワークが良く客先や現場対応の良さは職場の鑑となっています。



シップローダの足回りを図面を見て点検

見つけた! kirari輝く人

「いきいき働いている若手社員」のON/OFFを大解剖！
毎号、各部門の10代・20代の社員をクローズアップします。



ヤンチャに見えて?! 親孝行で仕事もできる

光支店・整備・工事課 **朝本幸洋さん(25歳)**

●プロフィール／平成26年4月に定期入社。新日鐵住金ステンレス(株) (以下NSSC) 光製造所の給排水配管業務を担当して2年目ですが、今や戦力として活躍中。目で見て触って仕事を覚えるという職人気質的な性格と、仕事に対する前向きな姿勢から、今後のさらなる成長が期待されています。

配管工事のプロにいち早くなる

NSSC光製造所内の給排水(雨水・浄水・工水)に関する配管工事の一連の業務を担当しています。今年還暦を迎える上司の背中を追いかけて、「退職されるまでに、どこまで技術・技能・人脈を吸収して成長できるか」が課題となっています。

普段は「なんとかなる！」精神を持つ朝本さんですが、経験不足を感じることもしばしば。常々上司に食い下がり、知識の蓄積と実行力を養うことを心がけているそうです。そのような中で仕事を任せられ、自分の経験が生きたと実感した瞬間に喜びを感じます。



▶現場・現物を見て上司のテクニックを真似、質問しながら配管工事のノウハウをマスター。

幅広い知識の習得で柔軟な対応を目指す

整備・工事課内で簡単な作業デッキを作ってもらおうよう依頼する際も、専門知識が必要となります。例えば給排水配管工事を実施するにしても、多くの知識と資格が必要で、管工事施工管理、土木工事施工管理、給水装置主任技術者などの資格取得



を目標としています。

現在は経験を積みながら、上司のノウハウを吸収。配管の水漏れ補修など、客先の要請にも早急に対応できることを目指し奮闘中です。

◀現場を隅々までチェックし、工事がスムーズに進むように気を配ります。

フットサルが仕事の息抜き

中学生までサッカーの経験があり、現在は地元のフットサルチームに入れてもらって楽しんでます。しかし、プレーしていくなかで、体力の衰えを実感！体力を取り戻すため、ジムで走るようになりました。体を動かすことが、ストレス解消にもなっているそうです。



▶朝本さん(後列・左端とフットサル仲間の皆さん。山崎圭祐さん(前列・中央)も一緒に楽しんでいます。

自慢の愛車はフェアレディZ

朝本さんの好きな映画「ワイルドスピード」にも登場するフェアレディZ。渋い色がお気に入りです。加速が良いので、スピード感をダイレクトに感じます。運転するだけで楽しく、どこか行きたいところができたらドライブもしてみたいそうです。綺麗好きな朝本さんは、週に1回洗車します。

▼フェアレディZ乗車歴は約1年。デザインもカッコいい！



30% 合コン

高専卒で職場も男性が多いので、年齢の近い女の子との会話を楽しんでいます。でも普段は早寝です！



50% 母

お母さんの手料理が何よりも大好き。実家に帰省するのが楽しみです。

20% 音楽

80~90年代の音楽が好き。一番好きなアーティストはZONE。松田聖子の曲も聴きます。

次号は産機事業部・機械装置設計グループのkirari輝く人をご紹介します。